



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 クニミネ工業株式会社

コード番号 5388 URL <http://www.kunimine.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 國峯 保彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 経営戦略部長

(氏名) 川島 利昭

TEL 03-3866-7255

四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	2,786	2.3	173	△26.8	158	△47.2	98	△50.3
28年3月期第1四半期	2,722	3.2	236	30.6	300	45.0	198	60.9

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △167百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 132百万円 (△16.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	7.36	—
28年3月期第1四半期	14.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	16,977	14,175	82.2
28年3月期	17,644	14,610	81.5

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,948百万円 28年3月期 14,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,509	0.9	430	△9.5	510	△7.3	327	△8.5	24.45
通期	12,568	2.5	1,397	△2.0	1,555	0.6	1,012	△1.9	75.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	14,450,000 株	28年3月期	14,450,000 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,061,577 株	28年3月期	1,061,577 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	13,388,423 株	28年3月期1Q	13,388,505 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）	P 1
2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 2
3. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P 2
(4) 追加情報	P 2
4. 四半期連結財務諸表等	P 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 7
(継続企業の前提に関する注記)	P 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 7
(セグメント情報等)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報（経営成績に関する説明）

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、鉱工業生産は輸出の伸び悩みや在庫の積み上がりなどを背景に一進一退で推移しており、個人消費は物価上昇率の低下によって実質所得が押し上げられているものの名目賃金の伸び悩みや消費者マインドの悪化などから横這い圏の推移が続いており、設備投資は円高や新興国経済の減速による企業収益の悪化を受けて回復ペースが鈍化しており、景気は足踏み状態が続きました。

このような状況下、当社グループにおきましては、主要納入先のうち、鋳物業界は、自動車の国内生産台数の減少が続いており、土木建築業界は、マイナス金利導入後の住宅ローン金利低下を受けて持ち直しが見られましたが、全体としては厳しい状況で推移いたしました。

このような背景のもと、当社グループは、これまでの海外展開への取り組みや震災復興需要関連の取り込み、郡山工場と小名浜工場のシナジー効果の発揮を継続して推進するとともに、為替相場の影響を受ける原材料において価格変動を最小限に抑える取り組みに注力し、売上高および収益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、主力のベントナイト事業部門は増収でしたがアグリ事業部門や化成品事業部門の減益により、売上高は27億86百万円（前年同期比 2.3%増）、営業利益は1億73百万円（同 26.8%減）となりました。経常利益は前年同期にあった為替差益16百万円が為替差損54百万円に転じたこと等により1億58百万円（同 47.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は98百万円（同 50.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ベントナイト事業

鋳物関係は、商用車をはじめとする自動車国内生産台数が減少したもののタイ国での売上が寄与し、増収となりました。土木建築関係は、新設住宅着工戸数の持ち直しによる土木基礎向けが増加し、地熱向けも増加したことにより、増収となりました。ペット関係は、新規納入先の取り込みなどにより取扱量が増加し、増収となりました。しかしながら、原材料高や資材高の影響により売上原価が上昇し減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は21億24百万円（前年同期比 5.0%増）、セグメント利益は2億68百万円（同 0.4%減）となりました。

② アグリ事業

農薬受託加工において、小名浜工場での定期修理により殺虫殺菌剤の生産が繰り越されたことや、前期に新設した設備の減価償却費の増加等により全体として減収減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3億74百万円（同 10.9%減）、セグメント損失は23百万円（前年同期はセグメント利益34百万円）となりました。

③ 化成品事業

ファインケミカルのうちクニピアが吸着用輸出向けで出荷時期が繰り越されたことにより減収となりましたが、環境保全処理剤がほぼ横這いで推移し、仕入商品の取扱量が増加したことにより全体として増収となりました。しかしながら収益性の高いクニピアの減収の影響を受け、減益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2億87百万円（前年同期比 2.7%増）、セグメント利益は26百万円（同43.2%減）となりました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間における業績は堅調に推移しており、主力のベントナイト事業部門において売上が増加しておりますが、資材や原材料価格が上昇し原価を圧迫する等、当社グループを取りまく環境は引き続き厳しいものが継続すると考えられ、前回発表（平成28年5月13日）の業績予想の変更はありません。

3. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ434千円増加しております。

② ①以外の会計方針の変更

該当事項はありません。

③ 会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

④ 修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,395,429	4,176,042
受取手形及び売掛金	3,630,008	3,336,737
有価証券	1,340,687	1,223,900
商品及び製品	354,849	324,873
仕掛品	225,446	246,731
原材料及び貯蔵品	1,235,693	1,299,495
その他	182,506	167,604
貸倒引当金	△1,295	—
流動資産合計	11,363,326	10,775,385
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,489,537	1,530,200
機械装置及び運搬具(純額)	1,104,428	1,107,566
土地	1,780,254	1,780,254
リース資産(純額)	42,258	54,524
その他(純額)	91,968	146,146
有形固定資産合計	4,508,448	4,618,692
無形固定資産	137,453	130,579
投資その他の資産	1,635,357	1,452,862
固定資産合計	6,281,259	6,202,134
資産合計	17,644,586	16,977,519
負債の部		
流動負債		
買掛金	805,440	648,878
短期借入金	—	225,000
未払法人税等	350,358	32,118
賞与引当金	137,551	70,022
その他	737,521	863,725
流動負債合計	2,030,870	1,839,744
固定負債		
退職給付に係る負債	10,242	10,942
閉山費用引当金	495,244	496,444
資産除去債務	23,494	23,494
その他	474,125	431,350
固定負債合計	1,003,106	962,232
負債合計	3,033,977	2,801,976

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,617,800	1,617,800
資本剰余金	2,794,107	2,794,107
利益剰余金	9,895,532	9,726,325
自己株式	△253,286	△253,286
株主資本合計	14,054,153	13,884,946
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,294	71,728
繰延ヘッジ損益	△31,121	△45,783
為替換算調整勘定	76,219	37,580
その他の包括利益累計額合計	318,393	63,525
非支配株主持分	238,061	227,071
純資産合計	14,610,608	14,175,542
負債純資産合計	17,644,586	16,977,519

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,722,524	2,786,468
売上原価	1,850,149	1,958,170
売上総利益	872,375	828,297
販売費及び一般管理費	635,751	655,183
営業利益	236,623	173,114
営業外収益		
受取利息	295	900
受取配当金	36,582	31,495
為替差益	16,146	—
貸倒引当金戻入額	419	1,295
その他	12,531	8,560
営業外収益合計	65,976	42,252
営業外費用		
支払利息	736	753
為替差損	—	54,636
コミットメントフィー	729	743
その他	261	372
営業外費用合計	1,727	56,506
経常利益	300,871	158,860
特別利益		
固定資産売却益	2,771	8,499
特別利益合計	2,771	8,499
特別損失		
固定資産除却損	3,166	5,013
特別損失合計	3,166	5,013
税金等調整前四半期純利益	300,477	162,347
法人税、住民税及び事業税	43,047	19,791
法人税等調整額	54,316	39,716
法人税等合計	97,363	59,507
四半期純利益	203,113	102,839
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,647	4,278
親会社株主に帰属する四半期純利益	198,466	98,561

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	203,113	102,839
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△40,153	△201,565
繰延ヘッジ損益	△28,105	△14,662
為替換算調整勘定	△2,027	△53,908
その他の包括利益合計	△70,286	△270,136
四半期包括利益	132,827	△167,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	128,787	△156,306
非支配株主に係る四半期包括利益	4,039	△10,990

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
減価償却費	118,297千円	129,669千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,022,537	419,796	280,190	2,722,524	—	2,722,524
セグメント間の内部売上 高又は振替高	16,335	—	15,084	31,420	(31,420)	—
計	2,038,873	419,796	295,274	2,753,944	(31,420)	2,722,524
セグメント利益又は損失 (△)	269,441	34,302	46,767	350,511	(113,887)	236,623

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△ 113,887千円には、セグメント間取引消去 491千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 113,248千円及び棚卸資産の調整額△ 1,130千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ベントナイト 事業	アグリ 事業	化成品 事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,124,399	374,214	287,854	2,786,468	—	2,786,468
セグメント間の内部売上 高又は振替高	11,841	—	16,608	28,449	(28,449)	—
計	2,136,241	374,214	304,462	2,814,917	(28,449)	2,786,468
セグメント利益又は損失 (△)	268,329	△23,244	26,546	271,631	(98,516)	173,114

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△ 98,516千円には、セグメント間取引消去 365千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△ 121,888千円及び棚卸資産の調整額 23,006千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。